

小テストを用いた効果的な指導法について

愛媛県立小松高等学校 笹岡 慎太郎

1 はじめに

今年度から本校に勤務し、1か月授業をして思ったのは、課題の提出率がいいが、学習内容の定着率が想像以上に低いということである。課題を「出しさえすればいいもの」としか受け取っていない生徒が多いように感じる。当初、色々と課題の出し方やチェック方法の工夫などをしてきたが、上手く機能しなかった。そこで、前任校から続けている、授業最初の10分間小テストを効果的に行うことによって、これらの問題を解消しようと試みた。以前に行っていた小テストは、計画性がほとんどないものであったが、課題や、授業と連動させて行うことによる効果について、今年度担当している1年生の授業を通して、研究を行った。

2 研究の目標

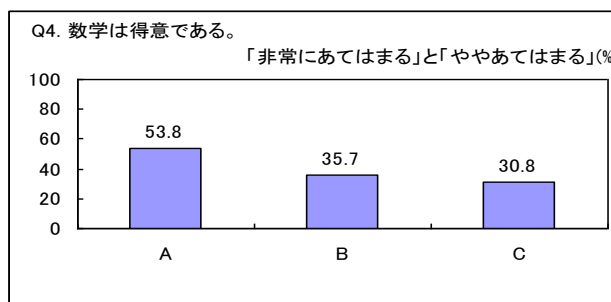
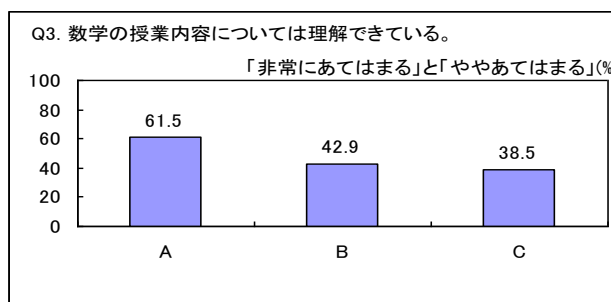
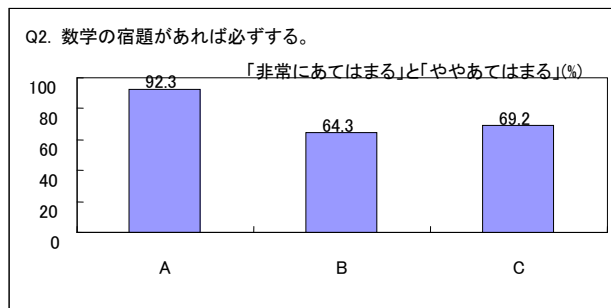
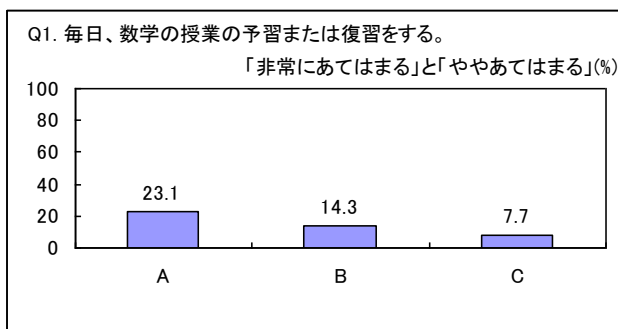
- (1) 小テストを実践することにより、家庭学習の充実を促す。
- (2) 小テストを実践することにより、学習内容の定着を図る。
- (3) 小テストを実践することにより、学習意欲を高める。

3 研究の方法および内容

(1) アンケートの実施

今年度の5月上旬に、私が担当している1年生40名に対して、以下のアンケートを実施した。集計は、1学期の中間考査の結果から、40人を習熟度別にA、B、Cの3段階に分けて行った。なお、アンケートの設問の選択肢は全て、

- ア 非常にあてはまる
 - イ ややあてはまる
 - ウ ややあてはまらない
 - エ 非常にあてはまらない
- である。



他にもアンケートの設問はあったが、今回は関係のある結果のみを掲載した。

Q2のB層よりも、C層が数値を上回ったのは、C層の中で、「とりあえず、課題は提出しなければならない」という意識が高かったためであろうと思う。

授業の理解度が低いと課題に対しての意欲もわかず、中途半端に提出してしまい、次第に積み残しが増え、悪循環になっていく。この積み残しを減少させるために、普段から行っている小テストを少し工夫して行うことにした。

(2) 小テストの改善

まず、私も含め、生徒の小テストに対する意識を変えることにした。「小テストの延長が定期考査である。」と強調した。ふだん少しでもいいので、家で小テストの勉強を毎日こつこつとしていけば、必ず定期考査等で成果が出ることを説明した。また、以前は、小テストをただ行うだけであったが、点数が十分に取れていない者は、放課後に補講をするなどの処置をと

った。また、毎回、小テストの範囲を定め、前日しっかりと学習した者は必ず点数がとれるようにした。

(3) 小テストの実施

小テストは、A4 用紙の横置き左右 2 段組で行う。当初は、前日の課題を範囲としていたが、後に、小テストの左半分は 1 週間前の授業の内容から出題し、右半分は前日の課題から出題する形に収まった。(図 1)

採点方法は、生徒の相互採点で行っている。自分の考え方とは違う解き方で解いていたりする場合があるので、生徒たちが、色んな考え方を吸収できるメリットがある。

小テストは回収し、次の授業で返却する。その際に、各自の小テストのプリントの裏に、その日の小テストの解答を印刷して返却している。(図 2)

図 1

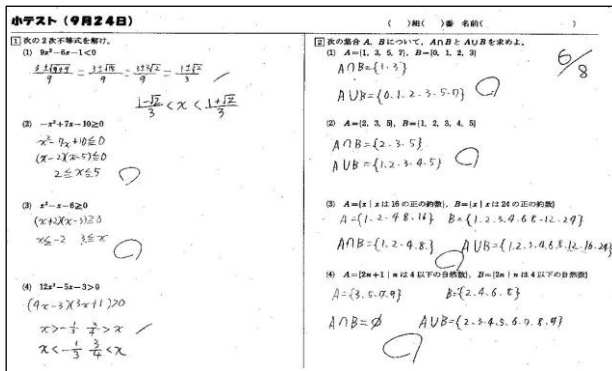
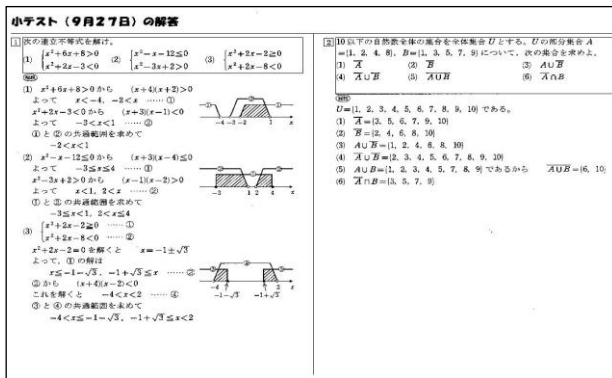


図 2



4 研究の成果

前述した方法での小テストを行って、約半年経過した。その間の生徒の変化を、次の 3 点について報告をする。

(1) 家庭学習について

日々の課題の取組については、以前より改善した。また、課題以外の自主学習を行っている生徒が増えたように思う。

(2) 学習内容定着率について

小テストや定期考査を見ていると、以前よりは学習内容が定着しているように思う。また、授業時に、以

前学習した内容を質問すると、答えられる生徒が多くなった。

(3) 学習意欲について

授業前の休み時間に、教科書やノートを開いて勉強する姿が、若干ではあるが増えている。また、授業時の、こちらが説明している時の態度も良くなった。また、5 月上旬に行ったアンケートと同じものを行ったところ、ほぼ全ての項目において、「非常にあてはまる」と「ややあてはまる」の数値が上回った。(減少したのは、Q2 での C 層のみ。)アンケートの最後に、小テストについての意見や要望などを問いかけると、以下の解答があった。(抜粋したもの)

- ・小テストを真剣に取り組み出したら、テスト前にとめて勉強しなくてもよくなった。
- ・授業が楽しくなった。
- ・人の答案を採点するのは面白い。
- ・解答の印刷は工夫されていて驚いた。
- ・小テストではあるが、数学のテストで初めて満点をとった。
- ・今までは、授業を受けたらすぐ忘れていたが、小テストのおかげで結構覚えている。
- ・テスト前の勉強に役に立った。
- ・最初は緊張感があったが、何回かしたら、さぼってしまうこともあった。
- ・解答をもう少し丁寧にして欲しい。
- ・プリントの保存が面倒。
- ・解説して欲しい。
- ・保存方法の指示が欲しい。
- ・問題が簡単。10 分もいらぬ。

5 まとめと考察

小テストを改善して、約半年経過したが、その成果はふだんの授業や定期考査等に表れているように思う。これまで、あまり意欲的でなかった者が、授業中真剣な眼差しでこちらの説明を聞いていたり、定期考査で自分でも驚くほどの点数を取ったりする者もいた。反面、その日の気分次第で、頑張る日と、そうでない日がある生徒もいた。そういった生徒には、小テストの勉強をしない日をできるだけ少なくするように、面談等で話をしたりした。また、難易度が高い問題を入れてしまうと、それ以後の小テストへの取組への影響が出てしまうこともあるので、今後は問題作りに十分に配慮していきたいと思う。また、生徒の意見にもあったが、小テストをどのようにして保存し以後の学習生活に生かしていくかということも、考えていきたいと思う。

今回は、普通科 3 クラスのうち、私が担当している講座のみで行った。毎時間、授業の 10 分間は小テストに使ってしまうので、他の講座との進捗がずれたりすることが多少あった。今後は、他の講座と連携して、共通で出来ることを考査して、研究を重ねていきたいと思う。